

議会だより

ふなだ



No.173
30年/1

発行：山形県舟形町議会
平成30年1月26日



成年 明けましておめでとう

(表紙の説明は13ページです)

年頭のあいさつ.....	2 P
11月臨時会・12月定例会概要・質疑応答...	3 P
町政を問う 一般質問に4議員.....	6 P
議会報告会を開催しました.....	11 P
議会活動・意見書.....	12 P
えがったなあ・町民の声・編集後記.....	14 P



新春 新堀より鳥海山を望む



町議会議長 八 焞 太

「年頭によせて」

明けましておめでとございます。

健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。町民の皆様には、議会の運営及び諸活動につきまして、旧年中に賜りましたご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、九州地方をはじめ全国各地で台風や豪雨による自然災害が発生しましたが、幸いにして舟形町には大きな被害もなく安堵しているところであります。

被災された地域の皆様には心からお見舞いを申し上げ、一日も早い復興を皆様とともに祈りしたいと思います。

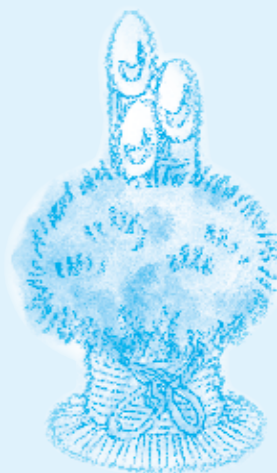
さて、平成三十年が幕開けしたわけですが、天皇陛下のご意向により、来年は退位と同時に皇位継承が行われ、新しい元号が始まります。

平成と呼べる年度も今年限りとなりました。年内に新元号も公表される見通しですので、この一年は、新しい時代に向けて何かと切り替えの準備の年となりそうです。

時代が変わるからと言って、取り巻く環境が変わる訳でもありませんが、当面する人口減少社会の中で、これからも住み続けるために、暮らしやすさを実感できる町づくりに向けて、産業の振興はもとより教育、医療、福祉の一層の充実を求めています。

今年、我々議員にとりましても、任期の最終年度となります。地域住民の皆様のご代表として、議会の改革と機能強化に努め、使命を全うすべく一丸となって努めてまいりますので、一層のご協力ご支援を賜りますようお願いを申し上げます。

結びに、本年が町民の皆様にとりまして、健やかで幸多き年でありまますようご祈念申し上げます。新春のご挨拶といたします。



議長	八 焞 太
副議長	叶内 富夫
議員	加藤 憲彦
議員	佐藤 広幸
議員	齋藤 好彦
議員	奥山 謙三
議員	佐藤 勇
議員	石山 和春
議員	小国 浩文
議員	伊藤 欽一
事務局長	斉藤 洋一
事務局	石川 忍

第5回臨時会 11月13日 12月定例会 5日～6日

契約の締結

舟形町除雪センター建築工事

9990万円

第5回臨時会は11月13日に開催され、若あゆ温泉大規模改修工事請負契約の一部変更（工事費1623万円の増額など）を可決しました。12月定例会は、5日から6日の日程で開催され、4名の一般質問に続き、一般会計・特別会計補正予算など全議案を原案どおり可決しました。

平成29年度 主な補正予算

- ◎ 福祉の町推進事業
灯油購入費助成……………134万円
- ◎ 中学校管理事業
除雪機購入費1台……………130万円
- ◎ 包括的支援事業
ケアプラン作成委託料……………80万円
ばっ気プロワー等修繕費……………277万円
- ◎ 集落排水施設管理事業（長沢・富田美水センター）



主な審議された議案

第5回臨時会

若あゆ温泉大規模改修工事
請負契約の一部変更

12月定例会

- 平成29年度一般会計補正予算
- 平成29年度特別会計補正予算
- 舟形町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 舟形町営バス設置及び管理等に関する条例を廃止する条例の設定
- 舟形町除雪センター建築工事
請負契約の締結
（契約の相手方 丸充建設株式会社）



受章されました4名の皆様、おめでとうございます。

質 疑 応 答

12月定例会

平成29年度一般会計補正予算

議員 お知らせ版で舟形町卓越技能者を募集していたが、その内容は。

まちづくり課長 町の技能者の地位と技術水準の向上を図るため、基準に該当する技能者を「舟形町卓越技能者」として表彰する事業です。

工期延長 平成30年1月末まで

若あゆ温泉大規模改修(浴場施設)工事 変更契約で7757万円に

若あゆ温泉大規模改修(浴場施設)工事において、工事の途中で予想以上に施設の老朽化が進んでいることが判明しました。
より快適で安全な施設とするために、工期を延長し、追加の工事を実施することから契約を変更するものです。

問 鉄筋や下地の木材の腐食がかなり進んでいたが、工事を始める前にわからなかったのか。

答 工事のために解体したことで、予想以上に腐食している箇所が多くあることがわかりました。今後、しっかりとした対応を行なっていきます。

問 再開を心待ちにしている多くの方々への周知は。

答 町内だけでなく隣接市町村にも、新聞折り込み等も活用して周知を図ります。

議案61号

町営バスの廃止条例を可決

平成30年4月1日から デマンド型乗合タクシーを運行予定



廃止される町営バス

利用者が少なく、空バスに近い運行となっていた町営バスを、平成30年3月31日で廃止することを決定しました。
4月1日から、町内の事業者がデマンド型乗合タクシーを運行する予定です。
自宅までの送迎も可能となることや、これまでバスが運行されていなかった地区にも運行を開始するなど、より利便性が高くなることが期待されます。

議員 鳥獣被害防止対策協議会を設置してからの活動状況は。

農業振興課長 11月末までに、イノシシについては4頭捕獲しており、活動時間は延べ500時間を超えています。これまでも設置していた檻^{かご}の他に、別のタイプの捕獲器をさらに購入し、さらなる対策を行なっています。

議員 山形県若者定着奨学金返還支援事業負担金249万6千円減額の理由は。

教育課長 当初予算で大学生(4年制大学)分として7名分を計上していましたが、5名の実績なのでその差額分です。

議員 学校給食自主流通米供給負担金の内容は。

教育課長 4月から給食に使用している米の銘柄を「はえぬき」から「つや姫」に変更したので、その差額分です。

議員 中学校管理費備品購入費で購入する除雪機の規格は。

教育課長 20馬力の除雪機購入を予定しています。

議案62号

除雪センター建築工事 請負契約の締結

9990万円

主要地方道舟形大蔵線の歩道設置工事に伴い、移転することとなっている除雪センターの建築工事の請負契約について可決しました。

除雪ロータリ6台、除雪ドーザー2台を格納する格納庫であり、完成は平成30年3月下旬となっています。



工事に着手した除雪センター建築工事現場



百歳体操に参加してポイントゲット!

議員 29年度で増えた健康ポイントカードの人数と、ポイント付与事業の内容は。

健康福祉課長 ポイント付与者は、今年度で65名増えて370名となっています。付与事業は町主催のスポーツイベント、百歳体操、健康講座、人間ドック、検診などが対象となります。

議員 指名業者は何社で、落札率は。

地域整備課長 指名業者は5社で、落札率は97.78%です。



奥山 謙三 議員

町と官民連携による事業展開を問う

民間から協力が得られるよう進める



連携事業で町に貢献している「ふなしん」

【質問】 今後、定住人口増につながるような町と官民連携の事業展開が必要だと思えます。一例として、民間賃貸アパートの誘致などです。また、その他に町、官民連携の事業構想があるとすれば併せて、町長の考えをお聞きます。

【町長】 居住環境の現状は、独身世代や新婚世代が入居できる民間アパートがなく、必要性は認識しています。町単独での賃貸住宅の建設は厳しいところもあり、現在、多方面に協力を打診していて、民間との連携による町の支援策についても検討しているところです。民間からの協力を得られるよう考えていきたいと思えます。

【質問】 町では賃貸住宅建設について、どこまで検討したのか。

【町長】 保育園隣の町有地に、民間を活用した賃貸

【質問】 住宅の建設について検討した経緯がありますが、事業化までには至りませんでした。

【質問】 賃貸住宅建設について、今後の進め方は。

【町長】 他町の建設事例を参考にしながら、平成30年度に事業化できるように検討していきたい。

農林水産物処理加工施設の運営状況を問う

【質問】 平成29年度上半期の販売状況と年度末までの収支見通し、次年度以降の経営改善の内容について質問します。

【町長】 現在の運営は、運営補助金があつてなんとか経営が成り立っている状況です。今年度上半期の実績は赤字となっております。下半期は、販売先である若あゆ温泉休業により、さらなる赤字の増加が予想されます。



売れる商品作りに励む

【質問】 今後の加工所利用について、広く町民に使用させる考えはないのか。

【町長】 国から補助金をいただいて整備した施設であるため、申請した目的以外での使用ができないことになっていました。その中で、広く町民に使用させることが可能かどうか、いろいろな面から検討したいと思えます。

町政を問う

一般質問に4人が登壇

一般質問とは

定例会において、各議員が住民の代表として行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する、議員の重要な活動です。

奥山 謙三 議員

7ページ

- 1 町と官民連携による事業展開を問う
- 2 農林水産物処理加工施設の運営状況を問う

齋藤 好彦 議員

9ページ

- 1 スポーツ施設の環境整備を
- 2 町独自の新たな克雪対策は

小国 浩文 議員

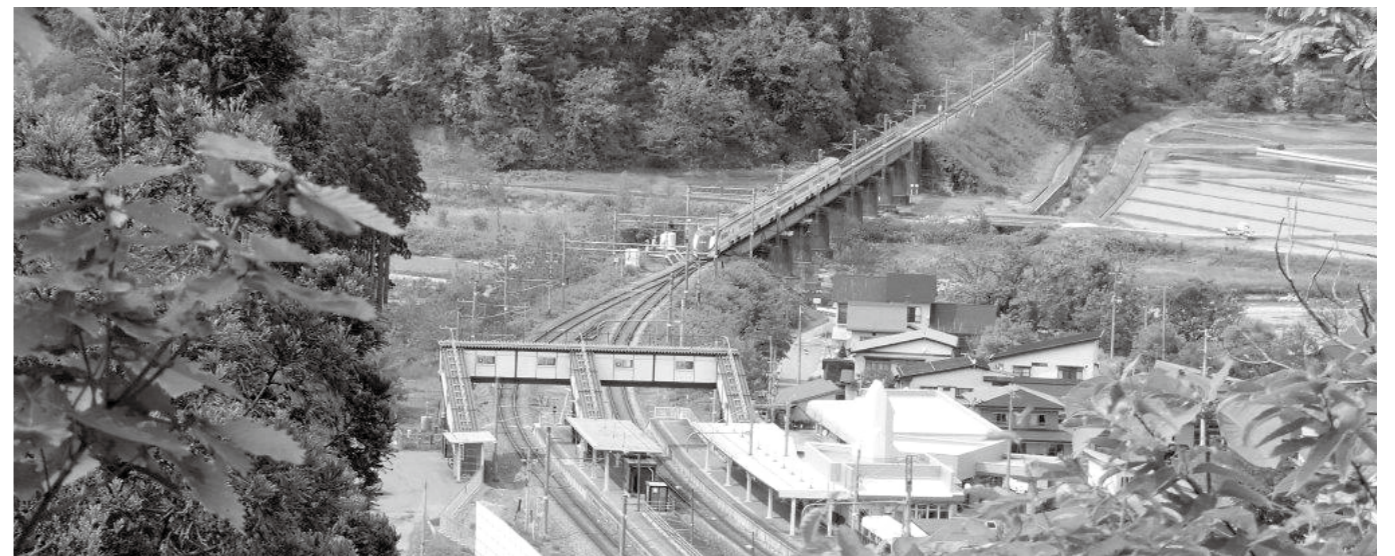
8ページ

- 1 水害対策について
- 2 長期避難所の確保について

伊藤 欽一 議員

10ページ

- 1 小型ロータリ除雪車の検討は
- 2 舟形町東京友の会観光里帰りツアーについて



縁結びの道より見える風景 ～舟形駅を通過し鉄橋を渡る『つばさ号』～



齋藤 好彦 議員

スポーツ施設の環境整備を

補助事業による整備を検討する



体育館にネットを張った野球練習場（富長交流センター）

【質問】 近年、本町の小・中・高校生の各種スポーツ大会での活躍は目を見張るものがあり、子供たちの活躍は町民の活力となります。既存のグラウンド、空き校舎の体育館の改修などによる環境整備により、子供たちが伸び伸びと練習、試合ができる、いっそう活躍できる

【町長】 未来のアスリートを育てるには、トップアスリートのプレーを身近に感じることができ環境が必要であると考えます。利用しやすい環境であれば、幅広い年齢層からスポーツを身近に感じ

ものと思います。町長の考えを伺います。

【質問】 克雪対策は自助・共助・公助とそれぞれの分野での対応策を講じておりますが、住民構成などにより、共助による支援体制が可能な地域も想定され、広域的な共助による体制の在り方、支援策の検討が必要であると思えます。今般の「地

町民、地域、行政が三位一体で

域づくりアンケート」の結果を踏まえ、新たな克雪対策について、町長の考えを伺います。

【町長】 克雪対策は、行政サービス観点での制度メニューだけでなく考えているものではないかと考えています。ご指摘のとおり、住民構成などで共助による支援体制が可能な地域が想定されることも否めない現状と思えます。

域づくりアンケート」の結果を踏まえ、新たな克雪対策について、町長の考えを伺います。

対応策として、地域の枠を広げて支え手の人材を確保する方法もあるかと思えますが、この度のアンケートの結果をもとに町民、地域、行政が三位一体となって考えることが大事であり、克雪対策の課題だけでなく、生活における具体的な課題を整理したうえで、町独自の新たな取り組みを考えていきたいと思います。



除雪支援をする消防団員（長者原町内）



小国 浩文 議員

水害対策について

根本的な対策を県とともに検討する



小国川からの水の逆流を防ぐ対策が必要とされる寺下地区

【質問】 平成27年9月10日の局地的な大雨により町において水害が発生し、若駒まつり会場、舟形第3地区及び舟形第4地区において大きな被害が発生したことは、まだ記憶として新しいもので、たいへん痛ましいことでした。

【町長】 平成27年9月10日の豪雨により、若駒まつり会場、舟形第3寺下地区及び舟形第4向屋地区に浸水被害が発生してから2年が経過しています。特に寺下地区の対策は、県による現況調査と測量が完了していますが、具体的な対策工法が見えない状況です。町としては、夫婦川の水門のところに県道を横断する樋管を整備し、排水ポンプにより内水を強制排水する対策工事と、増水時に小国川

この水害から2年が経過しましたが、これから水害がいつ発生するかわかりません。今後、水害が発生した時に、町としてどのような対策を行うおうとしているのかについて伺います。

から逆流する、排水対策も県に要望していく考えです。

長期避難所の確保について

仮設住宅建設等で対応する

【質問】 舟形町では、災害が発生した時の一時避難場所の確保に力を入れているようですが、災害の規模によっては、長期間の避難となることについても考えておかなければならないと思えます。その対策のひとつとして、旧長沢小の空き教室等を活用して、災害を受けた町民が宿泊できる施設にすることが考えられると思えますが、町としての考えを伺います。

【町長】 舟形町では、地域防災計画にも記載されている公共施設等の指定避難所が9施設、各町内会公民館等の一時避難所が24施設、要配慮者専用避難所が4施設となっておりますが、他の指定避難所も含めて長期間生活できる施設は現在ない状況にあります。

長期避難所の必要性は認識しながらも、整備経費や維持管理体制などの課題があります。このため、大規模災害発生時には指定避難所で数日間生活していただき、その間に仮設住宅建設等の早急な対応をしたいと考えています。



長期避難場所として活用が期待される長沢集学校（旧長沢小）

開かれた議会を目指して 第9回議会報告会を開催しました

10月2日(月) 開催

○生活道路の除排雪を行なってもらい、関係者はたいへん喜んでい

克雪対策

○デマンドタクシーと乗合タクシーとの違いは、また、福祉タクシーとは何か。

その他

○学校給食に、鮎の塩焼きや鮎ご飯は出しているのか。

○生活道路除雪の雪は、排雪してもらえないのか。

○町内会長のなり手がいない。

○高齢化に伴い、町内会活動が大変である。

○側溝に鉄板の蓋がかかっているが、雨の日は滑って危険だ。対応してもらえないか。

○コテージは人気があるようだが、増設の考えはないのか。

○日本一の給食とは。

交通

○町営バスは大きいものではなく、小さいものにして、回数を増やしたらどうか。

○流雪溝がない地区にも設置するような話があったが、現在はどうなっているのか。

○生活道路除雪を、雪の多い松橋地区から早くしてもらえないか。

9回目の開催となる今回の報告会は、9月議会における平成28年度決算についての報告と、議会活動および町の施策に関する意見交換を行いました。意見交換の中で、主な質問は次のとおりです。

町政等へ対するものは町当局に報告しました。今回の議会報告会の回答書については、会場となった町内の町内会長へ回答書を送付しています。



野公民館 参加者 9名



西又公民館 参加者 10名



今年度新設された生活道路（野町内）

【質問】 3月定例会で、除雪車の増車についての質問をしました。答弁は、増車やオペレーターの育成、確保を含め改善していくでした。今年は増車がないようだが、どのような対策や改善がなされたのか、町長に伺います。

【町長】 昨年度は、生活道路を含め、野町内から松橋町内まで16路線の除雪を小型ロータリ除雪車1台で実施しました。移動距離も広範囲となり、降雪量の多い日は予定時刻まで終了出来ず、路線の皆様にご迷惑をお掛けした時もありました。今年度は生活道路が1路線増えましたが、小型ロータリ除雪車は1台しかありませんので、より効果的に除雪車が作業できるよう、除雪計画を作成しています。今年度、中古の除雪車の購入について検討しましたが、町が提示した金額に達せず見送っています。これらを踏まえ、平成30年度の導入を検討し、生活道路除雪体制を充実させたいと考えています。

【質問】 第27回舟形町東京友の会「舟形町民まつり」が、去る10月14日、141名の会員が集い、日暮里のホテルで開催されました。参加者は高齢の方が多く、もう何年も故郷に帰っていない方や、なかなか帰郷できない方など事情は様々ですが、強い愛郷心を感じてきました。友の会員の観光帰りツアーで舟形町の素晴らしさを都会の皆様へPRしていただき、観光客の増加を図るため、友の会と協同し企画してはいかがか、町長の考えを伺います。

【町長】 町が企画募集となると旅行業法上問題があり、直接実施するには難しいと考えます。東京友の会の総意として実施されるのであれば、支援について検討する余地はあると思います。また、最上ふるさと連合という組織があり、毎年、会員を募り最上地域を訪れてい

ますので、そうした事業に参加いただければと思います。町としては、特に若い世代の出身者がつながりを持てるように何らかの応援をし、友の会の仲間が増えるような支援を今後もしていきたいと考えています。



ふるさとの話に心が弾む 友の会のみなさん



伊藤 欽一 議員

小型ロータリ除雪車増車の検討は 平成30年度の導入を検討

危機感の共有が大切

最上地方市町村議会議員研修会

(平成29年10月13日)

「県政の課題と最上地域の将来に向けた展望」と題して、最上総合支庁長の石山健一氏より、最上地域における県の取り組みや今後の施策の方向性などについて講演をしていただきました。

最上総合支庁では、「森と里山の文化が息づく暮らしの豊かさ」と厚みのある産業が織りなすエコポリス「最上」の創造」に向け、「市町村連携・人口減少対策の推進」を重点テーマに掲げ、農業・産業・基盤づくり・地域づくりの4つの柱のもと、事業が展開されています。

若者の流出が著しく、人口減少が加速していくことがこの地域の最大の課題です。このままでは将来この地域を維持していくことが困難になるという危機感を持ち、町だけでなく、最上地域が一体となった取り組みが必要であると感じました。



最上地域の未来を担う若者の確保を



山梨学院大学教授 江藤 俊昭氏

議会改革の目的は住民福祉の向上

県町村議会議員研修会

(平成29年10月17日)

「議会改革の現状と課題」と題し、山梨学院大学教授の江藤俊昭氏より講演をいただきました。議会改革は何のためにやるのか。最終的な目的は住民福祉の向上につながることであり、ということを確認し、その手法を学びました。

また、経済評論家の三橋貴明氏の「日本の政治・経済の行方」についての講演では、インフラ整備がもたらす経済効果に触れ、高速道路やフル規格新幹線の整備の必要性をあらためて感じました。

整備にはそれ相応の時間と経費がかかりますが、将来に向け、継続して取り組みを行なっていかねばならないと感じました。

総務振興 常任委員会

平成29年10月11日

オガールプロジェクト

公民連携の手法を用いたまちづくりについて、岩手県紫波町のオガール紫波株式会社への視察研修を行いました。

平成10年に、J.R紫波中央駅が完成したことに伴い購入した町の土地を中心とした都市整備を図るため、紫波町では「紫波町公民連携基本計画」を策定しました。

この基本計画に基づき、民間会社であるオガール紫波株式会社がオガールプロジェクトの中心となり、前例のない公民連携の手法を使って、民間主導によるまちづくり、コミュニティづくりが展開されています。

当町においても、観光産業の開発に、民間の力を入れ活性化を図るなどの検討も必要であると感じました。



文教民生 常任委員会

平成29年11月7日・8日

遠野市立博物館

展示物を平面的ではなく立体的・視覚的に配置したり、市内に点在する施設を周遊して見学するコース設定など、見てもらうための工夫がされていました。

文化財の展示・維持管理の状況について、岩手県遠野市立博物館と青森県是川縄文館への視察研修を行いました。

是川縄文館

国宝1点、重要文化財1600点が展示されていました。国宝「合掌土偶」は、免震・施錠にて常設展示、監視カメラによる24時間監視を行なっています。照明器具はすべてLED、館内はオール電化で火気の生じない設備となっていました。常に一定の温度・湿度を保つよう空調機を運転しており、やはり国宝級の文化財を維持管理していくには、多額の経費が必要となっていくようです。

職員数も多く、引き続き発掘調査・収蔵を行なっており、今後も新たな情報が出るものと思われ



意見書

12月定例会で採択された意見書を政府、関係機関に提出しました。

●地域高規格道路石巻新庄道路の早期実現等に関する意見書(要旨)

地方にとつては、真に必要な道路は未だ整備が進んでおらず、都市と地方の地域格差は広がる一方であり、政府の押し進める「地方創生」の実現にも大きく影響を与えるもので、重大な危機感を持たざるを得ない状況にある。

地方の道路整備の必要性を認識していただき、地域高規格道路「石巻新庄道路」の早期実現とそのため道路整備財源確保のため、国会及び国に対して強く要望する。



早期実現が待たれる石巻新庄道路

表紙のこぼれ

仲川栄次さん(馬形)宅の秋田犬 はなちゃん 3歳

成年は「結実」を表す年であり、これまで続けてきたさまざまな取り組みに、きつと良い結果が表れる年になるでしょう。

撮影当日はやんちゃぶりを遺憾なく発揮して、なかなか思うような写真が撮れませんでした。秋田犬らしく凛とした風貌はさすがだと思いました。これからも家族の一員として、過ごしてほしいと感じてきました。

議会だよりふながた4月号の表紙写真を募集します。

「議会だよりふながた」を、住民参加型のより身近な広報誌とするため、表紙の写真を募集します。

- 応募締切：平成30年4月10日(4月号掲載分)
- 応募方法：写真データを議会事務局へ持参するか電子メールで送付してください。
- 問合せ：舟形町議会事務局 32-2111 内線251 gikai@town.funagata.yamagata.jp

次回の定例会は 3月8日(木)～16日(金)までの予定です。皆さまの傍聴をお待ちしております。



今回は、地域おこし協力隊をきっかけに舟形町に定住した太田和慶さんと結婚した、宮城県多賀城市出身の裕(旧姓:小野寺)さんです。皆さんよろしくお祈りします。

♥どんなきっかけで知り合いましたか?
大学生だったころ、知人に誘われて舟形町に来たときに知り合いました。

♥嫁いできて、舟形町での生活はどうですか?
舟形町で勤めているのですが、毎日駅を利用してくださる皆さんとお話できて、とてもうれしく思います。おばあちゃんの生まれ故郷である舟形町(野)に戻ってこれて、不思議なご縁を感じています。

♥舟形町の良いところ・悪いところはありますか?
私たちは二人とも町外から来た夫婦なのですが、家族のように優しくしてくれる方が多く、とても良いところだと思います。悪いところは、冬に日照時間が短いです。

♥舟形町に望むことはありますか?
のんびりまったり過ごせるカフェや、ファーマーズマーケットのようなイベントがあるといいなあと思います。

声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

明けましておめでとうございます。

昨年は、あの国民保護サイレン(アラート)に身を震わせた方が多かったのではないのでしょうか?二〇一七年の漢字は「北」。どうしても悪い事象から取られがちです。ぜひ、今年は良い話題から取った漢字になつてもらいたいものです。

私は舟形町に生まれ、育ち、そして舟形町にある農協で仕事をさせていただいております。舟形町の基幹産業は農業であります。農業情勢が厳しいと言われているから久しくなりますが、これからの農業発展の一端を担えるよう、がんばっていきたくと思っています。

舟形町では、農業振興対策をはじめ、少子化対策など、他の市町村から見ても誇れる「町民のための町政」が行われていると思います。私は声を上げて何か出来るタイプではなく大きなことは言えないのですが、これからの舟形町には若者の力が必要不可欠だと思います。

「活気あふれる若者の町」に少しでも近づけるよう、町政の取り組みとして、若者に魅力ある舟形町にしたいだけのように期待しています。



門脇 透さん
(実栗屋)

(議会より)
議会としてもご意見に添えるように、活気ある舟形町にするため、がんばります。

編集後記

明けましておめでとうございます。新年を迎え、皆様のご健勝とご多幸をお祈り致します。政府は昨年12月8日の閣議で天皇陛下の退位日を2019年4月30日と定める政令を決定しました。天皇退位は約200年ぶりとのこと。平成は31年で幕を閉じることになります。

今、若あゆ温泉の大規模改修工事中ですが、工期が延びて不便に感じていると思います。2月1日にはオープン予定ですので、多くの皆様に利用していただくことを期待しています。議会だよりの充実を目指して、企画、要望等多くのご意見をお願い致します。

(石山 和春記)

発行責任者

議長 八 欽 太
議会広報常任委員会
委員長 佐藤 勇一
副委員長 伊藤 欽一
委員 奥山 謙三
委員 石山 春文
委員 小国 浩